

学位被授与者氏名	村田 愛美 (むらた めぐみ)
論文題目	行基説話の研究—宝誌伝との比較において—
論文審査結果の要旨	<p>本論文のテーマは基督教の聖人と仏教の聖僧との比較研究から出発したものであり、日本の仏教史において特別に神聖視された行基を研究する中で、中国の神異僧・宝誌のとの関連性を見出し考究している。行基伝承・行基説話については多くの先行研究業績があるが、中国の神異僧・宝誌の説話との関連性については、従来の研究で指摘されてこなかったところである。本論文では行基に関わる3種類の説話・伝承資料を取り上げて、中国の宝誌説話が日本の行基のイメージに影響を与えたことを論じている。</p> <p>資料を丹念に拾い集め、綿密な論証を行っており、レベルの高い研究といえる。行基と宝誌を結びつけるに至った要因についてはやや考究が不足しているが、今後の興味深い研究課題となるであろう。</p> <p>2023年2月16日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-218教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(比較文化)として十分な内容であると判定した。</p>